

# 2022～2023年度 小倉中央ロータリークラブ週報

第1292回 本日の例会 3月6日(月)

本日の卓話 「はじめまして・・・」  
網田 珠美会員



例会日 月曜日 12:30～13:30  
例会場 リーガロイヤルホテル小倉  
事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F  
TEL 093-531-4015  
FAX 093-531-1022

会長の時間（2月27日 1291回 例会記録） 林田会長

出席報告 2月27日

国際ロータリークラブ会長エレクトさん（スコットランドの人ですが）RI会長の次年度のテーマは「世界に希望を生み出そう」。目標は破壊的な紛争から世界が立ち直るように希望を取り戻すことです。

2月15日の西日本新聞にウクライナより戦禍をのがれて避難してきた学生さんのお話がかかれていました。読んだ人もいます。

日本経済大（大宰府市）の学生さん。両親と離れ離れの生活にも、「将来のために送り出してくれた。だから、私は恵まれている。」と。キーウの友達はTELで「ミサイルが怖い」と。故郷が無慈悲に砲撃されている。民の体力・気力そして命までも奪っていく行為が同じ人間として悲しい。大学では、ダンス、和太鼓に取り組んでいる。自分の生まれは8月15日。終戦の日です。誕生日の度に、「生かされている」と実感しています。自分の一番好きな日本語は「木漏れ日」です。

最近ですが、佐世保に一家で避難している17歳の男のお話が出ていました。

スピーチコンテストで、戦争の愚かさや平和の尊さを訴える写真と共に、好きな日本語は「平和」、「桜」だそうです。キーウから南西約700キロヴィーンヌィツァ州で生まれ、妹と両親の4人暮らし。祖父母も近くにいる仲の良い温かい家族だった。警察官の父親から「戦争が始まった。町は危ないから逃げるよう」に言われ、ハウステンボスでアーティストとして活動する。叔父さんのところに来たわけです。長崎の日本語学院などの支援で、祖父、母も合流した。言葉が分からない戸惑いや、不安で押しつぶされそうになったが、ウクライナにいる父や友人のためにも日本で自立する決意をしたそうです。

日本語を身に着けるため、ハードワークの日々。平仮名や漢字の読み書きや会話の上達にも励んだ。日本語能力検定で、基本的な日本語を理解できる「N4」に合格。スピーチコンテストでは、「家族に会いたい、友達と高校に行きたい、遊びにも行きたい、戦争で奪われた『当たり前』を返してほしい。」と訴えた。

自分が体験している戦争の悲惨さや愚かさを伝え、平和がいかに尊いかという思いを同世代の若者たちと日本語で交流し分かち合いたい。

松本零士さんも言っています。「造られた物体は壊れても人がいる限り、また作り出すことができる。死んだ人間は二度とつくりえない。」と。

私たちは今、戦争とは関係ないところに住んでいます。本当に幸福な事、でも、いつこんな時代が来るとも限りません。今の平和な一日一日を感謝しないといけないなとつくづく思いました。

在籍会員数	42名
義務出席者	39名
ゲスト	1名
ビジター	0名
本日出席数	30名
本日出席率	76.92%
前々回修正出席率	92.85%

次週の例会は、3月13日(月)

米山奨学生  
アブシャウイッシュ・アスマア・ピアさん

## 3月のお誕生日

15日 安部 高子会員  
20日 光應 知廣会員  
30日 安木 功会員

## 今月の主な予定

5日(日) 米山奨学生修了式  
6日(月) 定例理事会  
11.12日 会長エレクト研修セミナー  
27日(月) 次年度理事会

## 幹事報告

## 古川幹事

・本日は特にありません。

## 卓話の時間

「百年の会」

吉田 裕彦会員

## ニコニコ献金報告

累計 468,600円

林田・古川・野口会員—本日の卓話は、百年の会です。

吉田会員、よろしくお祈りします。

湯口・芳賀会員—本日の「百年の会」の講師を吉田さんをお願いしたところ快く引き受けていただきました。

本日はよろしくお祈りします。

河野会員—門司で皆さんと別れて約5キロ、門司港を折り返して地獄が待っていました。来年は練習を積んで臨みたいと思います。雨風の中、応援いただきありがとうございます。皆さんの顔は一生忘れません、と思います。

浅海会員—吉田会員、勉強会よろしくお祈りします。

光應会員—ボケか思い込みで5RC合同例会に25日に行きました。すみませんでした。

田村会員—初二水会、ありがとうございました。緩やかな雰囲気にもれずレベルアップに努めたいと思います。

巫部会員—ここでアスマアさんにお会いできるのも、あと2回となりました。例会での交流をお楽しみ下さい。

村口会員—すみません。早退します。

合計 23,000円



アスマアさんは、3月で奨学期間が終了します。



来月14日で、私たちのクラブは、創立31年を迎えます

そこで、本日の百年の会のテーマは、新会員の方もおられるので、あらためて、クラブ創立時の事、そして特別代表の上野先生の事、後半はロータリーの

根幹といえる職業奉仕の事をお話しさせていただきます。

創立は、1992年3月14日。31年前42名の会員でスタート、創立時の会員のことをチャーターメンバーといっています。42名中、現在も会員の方は、9名になりました。

池浦会員・大久保会員・羽地会員・安木会員・湯口会員・樋上会員・安部会員・豊川会員・吉田です。

そして、小倉中央ロータリーの誕生に忘れてはならない方がおられます。それが、特別代表を務めていただいた上野正康先生です。特別代表とは、創立者ともいえますが、私は常々わがクラブの生みの親であり育ての親であるといっております。

すでに、上野先生の事を知らない会員も増えておりますので、あらためて紹介させていただきます。

上野先生は、1921年10月、大分の宇佐市でお生まれになりました。教授時代、学生の面倒見がよく、学生と一緒に飲み屋の借金払いや質屋の受けだしに回ったこともあると聞いております。この写真でお分かりになるように、いかにも学長、威厳貫禄があり、しかしとても物腰が柔らかく親しみやすい、心から先生とお呼びできる方でした。ガバナーの仕事が多々あるなかで、会員拡大 各クラブに会員の増強をお願いするだけではなく、新クラブを作ることによって、拡大を図ることを決断、ガバナー退任後、小倉クラブをスポンサーとして、新クラブの創立に力を注がれました。

そして生まれたのが、わが小倉中央ロータリーということで。新クラブ創立にあたり、上野先生の念頭にあったのが2つありました。一つは、すべて新人の会員とする。上野先生と初代会長として原田さん、お二人のみ移籍される。42名中40名が新人。そして最も重要視したのが、女性に新会員として入会してもらおう、ということでした。それには、わけがあります。

ロータリークラブに女性会員の入会が認められたのが、1989年。上野先生、ガバナー就任の前年でした。

そして、1992年3月、2700地区初、九州で初の女性会員が所属するクラブとして小倉中央RCが誕生しました。

クラブ創立時は、新会員ばかりですから、ロータリーの事を何もわかりません。そこで、上野先生は、例会で折に触れて、ロータリーのことを、一から教えてくださいました。

クラブ奉仕とは、職業奉仕とは、各奉仕についてその考え方を学ぶことができました。しかし、創立して10年過ぎたころから、そういったロータリーの事を学ぶ機会が徐々に少なくなってまいりました。そこを上野先生は憂慮され、ある席で、最近ロータリーの事を知らないロータリアンが多くなったと、ぼやいておられるのを数名がお聞きし、それではいけない、もう一度、勉強会を企画して、上野先生に教えていただこう、ということになりました。

それが、2005年、くしくも、ロータリー創立100年を迎えた年であり、百年の会となりました。

しかし残念ながら、翌年2006年10月84歳でお亡くなりになりました。そこで、一旦中断、しかしそれではいけないということで、2007年上野先生の遺志を継いで、再開し、現在は湯口会員の主催で継続されております。

ここからは、職業奉仕について、お話しします。

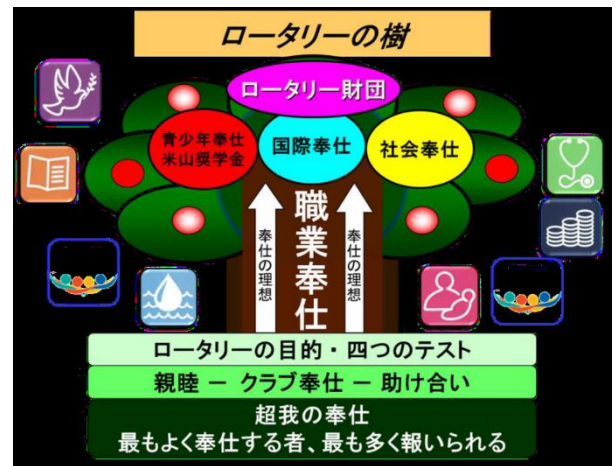
皆さんご存知の通り、ロータリー創立時の目的は、親睦と相互扶助にありました。当時のシカゴは、著しい経済発展の影で、商業道德の欠如が目立つようになっていました。

そこで、お互いに信頼できる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたいという趣旨でロータリークラブを創立したのです。

その後、拡大につれて、社会奉仕、国際奉仕と活動の幅を広げていきましたが、職業奉仕こそが、創立時の思いの表れであり、ロータリーの根幹と言えます。

では、職業奉仕とは何だ。職業奉仕とは、一言でいえば、世のため、人のために、自分の職業を全うする、ということです。もちろんこれはロータリーだけの理念ではなく、たとえば、近江商人の心得を言った「三方よし」と同じ意味合いでしょう。すなわち、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」売り手も買い手もよかったと満足し、また、社会貢献も出来るのがよい商売ということですし、これこそが職業奉仕と言えます。

もう一つ、職業奉仕の事をわかりやすく表したのが、ロータリーの樹です。職業奉仕という幹があり、国際、社会、青少年奉仕という枝葉がある。ロータリーの樹に水と栄養を送る、根の部分は、クラブ奉仕です。クラブの例会を通じ、いろいろな職業の人と接し、その友人からいろいろなことを学び、そして4つのテストをはじめとする、ロータリアンとしての行動規範や職業倫理を学ぶことにより、自分の職業にそれを活かしていく。自らの職業で、社会に奉仕する、貢献する。それこそが、職業奉仕であり、まさに、職業奉仕こそが、ロータリーの根幹である、ということになります。



特別代表 上野正康先生  
九州歯科大学 名誉教授



#### <ロータリー歴>

1970年1月	小倉ロータリークラブ入会
1979年7月	小倉ロータリークラブ会長
1990年7月	国際ロータリー第2700地区ガバナー
1992年3月	小倉中央ロータリークラブ 特別代表